

平成26年5月18日
今週のベストショット



雁レク軟式3 雁ノ巣ライナーズ 対 新町パイレーツ戦
ライナーズ七番国崎豪士選手が3打数3安打2HR7打点の活躍！

写真：三苦三球会 中村 元

奈多グラウンド 奈多サンデーズ塚本投手粘りの投球で完投勝利！

奈多サンデーズ（3勝）3020201 8 塚本○-田中（俊）
塩浜ジャガーズ（2敗）1000300 4 道善●、内田-堀内

HR：田中（俊）、野々下（奈多サ） 3BH：大川2（奈多サ）

2BH：野々下、田中（俊）（奈多サ）、稗田（塩浜ジ） 盗塁：土田（奈多サ）

2週間空いて再び動き出した和白リーグの一戦。先攻の奈多サンデーズは、初回からいきなり持ち前の打力を発揮する。一番土田選手を筆頭に三連打で先制すると、五番野々下選手の二塁打も飛び出し、いきなり3点を先取する。その裏、塩浜ジャガーズは四番堀内選手のライト前タイムリーで1点を返す。サンデーズは三回表のチャンスをもノにすると、五回には二者連続本塁打を放ち、2点ずつを加える。しかし五回裏、ここまで抑えられていたジャガーズ打線が目覚ます。代打の角選手が安打を放ち、続く三番内田選手も安打を放ちチャンスを作ると、相手のミスも重なりこの回3点を返す。しかし追い上げもここまで、ジャガーズは、再三チャンスを作ることには成功したが、サンデーズ塚本投手の要所要所を締めるピッチングの前に勝利を逃した。

安打数は両チーム共に変わりはないが、今回の対決はチャンスを活かすことができた奈多サンデーズに軍配があった。試合展開が非常に早く7回まで試合が進んだ。（記事・写真：三苦ホーネッツ 洲上祥太）



両チーム挨拶。



初回、先制の三塁打を放つ奈多サンデーズ大川選手。



1点を返すホームイン、塩浜ジャガーズ竹尾選手。



完投勝利、サンデーズ塚本投手。



残念ながら負傷してしまったサンデーズ野田選手。



最終回到場した「代打、俺。」こと水流選手兼監督。

雁の巣レク 軟式3 一発攻勢でライナーズ快勝！！

新町パイレーツ (1敗) 00000 0 八坂●、牟田一桐島、大場

雁ノ巣ライナーズ (2勝) 02026× 10 鳥越○ー竹上

HR: 国崎×2、宇野(雁ノ巣) 2BH: 国崎(雁ノ巣) 盗塁: 明瀬(旭) (雁ノ巣)

初回、制球の定まらないライナーズ先発鳥越投手は3つの四球を与え満塁のピンチを招くも、パイレーツ中島選手を右飛に打ち取り、何とか無失点で切り抜ける。一方、パイレーツ先発八坂投手も先頭の明瀬(旭)選手にヒット、盗塁を許し得点圏にランナーを背負う苦しい展開であったが、こちらも後続を抑え、初回は両チームともに無得点に終わった。試合が動いたのは二回裏。二死からヒットで出塁した竹上選手を塁に置き、ライナーズ八番国崎選手の放った打球は先制の2ランHR。さらに四回裏のライナーズは、四番宇野選手がセンター前にポトリと落ちるヒットで出塁、続く五番久保田選手もヒットを放ち、六番有馬選手が送りバントでランナーをそれぞれ進めると、打席には先ほどHRを放っている国崎選手。打球はレフトへの2点タイムリー二塁打となり、ライナーズに待望の追加点が入る。ライナーズは五回にも、宇野選手、国崎選手の2本の3ランでパイレーツを突き放し10対0のコールドゲームで試合を締めた。ライナーズ鳥越投手は初回こそ乱れたが、以降は要所を締め、終わってみれば2安打完封。見事なピッチングを披露した。一方、敗れたパイレーツは初回のチャンスが活かせなかったのが悔やまれる。点差は開いた展開だったが、特に外野陣には随所に好プレーが見られ、両チームの高い守備力を印象付けた試合だった。(記事、写真: 三苦三球会 中村 元)



新町パイレーツ先発は八坂投手。



立ち上がり苦しんだが2安打完封のライナーズ鳥越投手。



一回表、盗塁を決めるライナーズ一番明瀬（旭）選手。



二回裏、ライナーズ七番国崎選手がライトへ先制2ラン。



四回表、パイレーツ中島選手、牽制でアウト！



四回表、ライナーズ四番宇野選手が放った打球は・・・？



野手の間にポトリと落ちてヒットとなる。



続く五番久保田選手がセンター前へクリーンヒット。



六番有馬選手は送りバントを成功させる。



五回裏、四番宇野選手の打球は左中間への3ラン。



チームメイトの祝福を受ける宇野選手。



ライナーズ国崎選手、2本目のHRで試合を決めた。



3打数3安打2HR7打点と大活躍の国崎選手。



五回途中よりマウンドに上がったパイレーツ牟田投手。



ライナーズ 中口中堅手のファインプレー！

青松園B トリプルプレーも出た！ダブルプレーも2つ出た！！三友クラブの結末は！？

三友クラブ (0勝1分) 000000 0 足立△-柿崎

新町ウインズ (2敗1分) 000000 0 藤田△-今林

盗塁：長岡 (新町ウ)

三友クラブ足立投手、新町ウインズ藤田投手の両エースの投げ合いは、初回藤田投手が二者連続三振で好調な滑り出しと思われたが、三番から連続四死球で二死満塁とするも、最後も三振に取り無失点。足立投手は、ウインズ二番長岡選手に内野安打を許すも緩急を巧く使い無失点。ここから両者譲らず0行進となる。藤田投手は三回までスコアリングポジションまでランナーを進めるも踏ん張り、徐々に調子を上げると五回、六回は三者凡退に切って取る。一方足立投手は、四回以外全てランナーを背負うピッチングとなったが、三友クラブ守備陣が素晴らしいプレーを連発！三回裏無死1塁からウインズ一番桐島選手のセンター返しを駄原中堅手が前進してダイレクトキャッチし、飛び出したランナー戻れずWプレー。五回裏無死一二塁のピンチもウインズ代打八田選手をサードゴロ、三友クラブ竹岡三塁手がちょっとファンブルしたが三塁ベースを踏んで一塁に転送でWプレー、更にファンブルして際どいプレーになったのを見越して一塁ランナーが三塁を狙った所を、杉山一塁手が返す刀で三塁送球タッチアウトのトリプルプレー完成！！最終六回裏もこの日二本目の内野安打で出塁したウインズ九番安藤選手を一塁に置いて桐島選手のピッチャー返しを三友クラブ福井遊撃手が捕って二塁を踏んで一塁送球のWプレー！！しかし、二番長岡選手が四球で歩き、三番今林選手の強烈なサード強襲ヒットで竹岡選手が負傷交代となる大ピンチ。しかしエース足立投手がウインズ四番野田選手をセンターフライに切って取り、両者スコアレスドローで引き分けた。三友クラブの神掛ったプレーを見て、「もしかしたら・・・」と思ったが、逆にウインズ藤田投手の闘争本能に火をつけたのかもしれない。三友クラブは3安打中2安打を九番の広瀬監督が放った。上位打線に当たりがあればこの試合勝っていたと思ったのは私だけではないだろう。

(記事、写真：レッドサンデーズ 八島久徳)



新町ウインズ先発、藤田投手。



三友クラブ先発、足立投手。



チーム初安打、ウインズ二番長岡選手。



味方の打球を避け損なったウインズ野中選手。



二回裏、ライト前を放つウインズ藤田選手。



ウインズ今林捕手に盗塁を刺される福井選手。



バントシフトでもセーフになるウインズ安藤選手。



センターに鋭い打球を放つ桐島選手だが・・・



桐島選手の打球をWプレーに取った駄原中堅手。



やったぜ、チーム初ヒット！三友クラブ広瀬監督。



小フライを飛びついて捕った今林孝智捕手。



投手戦に躍動感が出てきた藤田投手。



五回裏、見事に三重殺を取った三友クラブ杉山一塁手（左）と竹岡三塁手（右）。



今度は一塁側へバントヒット。ウインズ安藤選手。



最終回二死から二盗を決める長岡選手。



痛烈なサード強襲ヒットのウインズ三番今林選手。



強襲打で負傷した竹岡選手の下に集まる選手たち。
しかしこのプレーがサヨナラを阻止した。

青松園A 荒れに荒れた試合。

ソルトベイスターズ（1勝2敗）4 0 0 0 1 3 3 1 1 中村（耕）○—酒井
三苦フレンズ（0勝1敗）1 0 1 0 0 0 0 2 生野（拓）●、山口、生野（拓）—西山

2BH：中村（耕）、酒井、田中（広）、中村（裕）石井（ソルト）

一回表、三苦フレンズ生野（拓）投手の制球難、味方のエラーが重なり一挙に4点を先制される。その裏フレンズも1点を返し喰らいついていく。二回以降は、両投手1点を失うも好投をみせ一進一退の攻防を繰り広げる。試合が動いたのは六回表。初回の制球難を乗り越えリズムを取り戻して好投をみせていた生野（拓）投手だったが、代打の荒尾選手に二塁打を打たれると中村（健）選手にタイムリーヒット、田中（広）選手に二塁打を打たれ3点を追加される。何とか反撃をしたいフレンズだが中村（耕）投手の安定したピッチングの前に凡打のヤマを築き、なかなか切っ掛けが掴めない。七回表、六回途中から出血がみられた生野（拓）投手に代わり急遽マウンドに上がった山口投手。三人で抑え最終回に繋げたい所であったが制球が定まらず、先頭打者に死球、石井選手に二塁打を打たれ、続く打者にも死球を与える。するとここで両陣営がヒートアップし試合が大幅に中断。その後、再度生野（拓）投手がマウンドにあがるもケガの影響もみられ3点を失う。最終回、中村（耕）投手は何事もなかったような冷静な投球にて完投で締めくくった。（記事、写真：奈多クラブ 吉田 貴史）



三苦フレンズ先発の生野（拓）投手。



終始安定感のある投球をみせたソルト中村（耕）投手。



この日は守備で魅せるソルト八柄選手（その1）。



この日は守備で魅せるソルト八柄選手（その2）。



この日は守備で魅せるソルト八柄選手(その3)。



チームの勢いづける一打を放ったソルト荒尾選手。



人を魅了させてくれるソルト迫選手(その1)。



人を魅了させてくれるソルト迫選手(その2)。



綺麗なタイムリーヒットを放った生野(拓)選手。



試合後にもヒートアップ。

第3週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ!

3週間ぶりに開催された第3週、5月18日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの奈多サンデーズ対塩浜ジャガーズ戦は、7回まで達したスピーディーな展開で、先制・中押し・ダメ押しと効率よく長打を織り込んだ打撃を發揮したサンデーズが8-4で勝利した。サンデーズは主軸にも一発が飛び出したが、超ベテラン選手がスクランブル出場しなければならない事態が発生。選手層が決して厚

いとは言えないサンデーズにあって、野田選手が負傷退場、全治6週間の怪我を負った。

雁レク軟式3の新町パイレーツ対雁ノ巣ライナーズ戦は、不安定な立ち上がりを乗り切ったライナーズ鳥越投手を打撃陣が強力に援護。四番宇野選手の2安打1HR3打点、八番国崎選手の3安打2HR7打点は見事！ライナーズの打線は足も小技も使える選手が多く、一発もあるWSLでも1、2位を争う怖い打線となった。

青松園Bの三友クラブ対新町ウインズ戦は、両チームの投手、守備陣がギリギリで踏ん張る展開で0-0のスコアレスドローとなった。ウインズ藤田投手が力で抑え込んだのに対し、三友クラブは二重殺2と三重殺と守備の良さが光った。三重殺を捕った三友クラブ竹岡三壘手が最終回顔面に打球を受け負傷退場となり、サヨナラのピンチを迎えたが、チーム一丸でこのピンチを乗り切った。非常に見応えのある試合だった。

青松園Aのソルトベイズスターズ対三苦フレンズ戦は、ソルトがフレンズ投手陣の9四死球の制球難と9安打、投げては中村耕一郎投手が2安打に抑え、11-2でソルトの勝利。最終回乱闘騒ぎになり、後味の悪い試合となったが、試合をしっかりと作り、ソフトボールを楽しむためにもまずは投手力の整備は必要不可欠。

三週間ぶりの開催だが、この休みの期間の調整は選手個々に与えた影響は大きかったようだ。